

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		環境審議会開催事務		担当課	生活環境課
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち		計画期間	平成 6年度～
	施策	生活環境の保全		種別	法定事務
	基本事業	環境保全活動の推進		市民協働	事業協力
予算科目コード	01-040103-05 単独		根拠法令・条例等	環境基本法第44条、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の7、守谷市環境審議会条例	

なぜ，この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
環境基本法第44条，廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の7に基づき，平成6年に守谷市環境審議会条例を策定した。	市長の諮問に応じ，守谷市環境基本計画に基づく環境保全に関する基本的な事項及び一般廃棄物の減量，適正処理，再利用の促進等に関する事項について調査審議し，答申を行う。 平成28年度は，第2次守谷市環境基本計画の答申を行ったほか，毎年度策定する「守谷市一般廃棄物処理実施計画（案）」の審議を行った。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
環境保全に関する基本的な事項及び一般廃棄物の減量，適正処理，再利用の促進等に関する事項について調査・審議し，環境保全活動の推進及び市の施策推進に貢献している。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市民や事業者が自然環境を大切にする生活や行動を促進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
適切な内容，時期での会議開催を通して市の環境保全を進めることができた。	昨年同様，適切な内容，時期での会議開催を通して市の環境保全を進めることができた。また，環境基本計画の策定について答申を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
審議会開催数（回）	1.00	2.00	3.00	2.00	2.00
審議件数（件）	1.00	2.00	3.00	2.00	2.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	案件に基づき開催しているため不定期であるが、審議会を継続して行うことにより成果の維持を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	環境保全についての審議・諮問機関であるため現状維持である。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	51	94	124	116	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	51	94	124	116	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	321.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	1,316	0	0
トータルコスト		51	94	1,440	116	0